



おかむら たけし
岡村 武

むかい 派
無会派

風格のある県都津市には市営病院が必要では

問 県内には津市より財政が良くないところでも、市営病院を持っているところがある。動けない救急車の問題を解決し、市民の命を一人でも多く助けるためには、管理運営に津市が口出できない病院がどれだけあっても駄目である。市長の所信表明において「風格のある県都津市」という言葉を使うのであれば、津市営の救急救命病院が必要であると考えますが、いかがか。

答 現在、津市には三重大学医学部附属病院をはじめとして、国・県が関与する病院がかなり多く立地し、それぞれの専門性を持って、高度な医療を手掛けている。また、過去からの歴史を持つ民間病院も多数ある。よって、現状では、直ちに市民病院を建てる必要はないと考えているが、救命救急がうまく起動するよう、津市として関係機関に働き掛け、動き出す救急車対策をしっかりと対応させていただく。

なお、平成23年には、三重大学医学部附属病院に、広域で重症患者を診る救命救急センターが設立されたが、これが市内にできたということは、市民にとっては非常に心強いと感じている。

●その他の質疑・質問●

- モーターボート競走事業は賭博では
- 公契約条例の制定を
- 津エアポートラインの減便について
- 市長の所信表明から
 - 道の駅津かわげについて
- 総合教育会議の中身について
- 教育の考え方について
 - 家庭教育について
 - 教科書採択について など



▲市の財政に寄与できていない競艇事業は賭博ではないか



さかい だ しげる
坂井田 茂

いっしん かい
一津会

郷土資料館等公開展示施設の活用に関して

問 津市には、郷土の歴史や民俗に関する歴史的資料等の文化財を収集・保管・展示する歴史郷土資料館が現在6館ある。小中学校の児童生徒が各地域の学習を深め活用できるよう、各館それぞれ工夫し展示しているが、合併10年を迎え、津市全体の郷土歴史資料等を展示する「津市歴史郷土資料館」の開設の考えを含め、今後の資料館活用の方向性を問う。

答 現在の資料館の取り組みとしては、平和教育をテーマにした香良洲歴史資料館、国史跡多気北畠氏城館跡を紹介する美杉ふるさと資料館などそれぞれの地域性を生かした運営をしている。また、地域にあることで近隣の子どもたちの学習の場、市内を通る歴史街道の散策、周辺の史跡など文化財を巡る中での拠点的な施設として資料館の活用を図っている。

一方で、全市的に紹介が必要な、戦国大名の北畠氏や藤堂藩の歴史、一身田寺内町の町並みなどについては、中央公民館をはじめとした公共施設での企画展示、つデイを利用した東京でのPRなど工夫を凝らしながら、津市の歴史文化を展示紹介し、学んでいただく場として提供している。

●その他の質疑・質問●

- 「平成27年度みえスタディチェック」の活用について
 - 昨年度における実施上の諸課題は改善されたか
- 津市立小中学校における「主幹教諭」及び「指導教諭」の配置について
 - 任用候補者選考の流れは
 - 配置校での期待する効果は
- 初期日本語教室「きずな教室」の実績と課題は など



▲津市全体の歴史郷土資料を網羅する展示施設の開設を